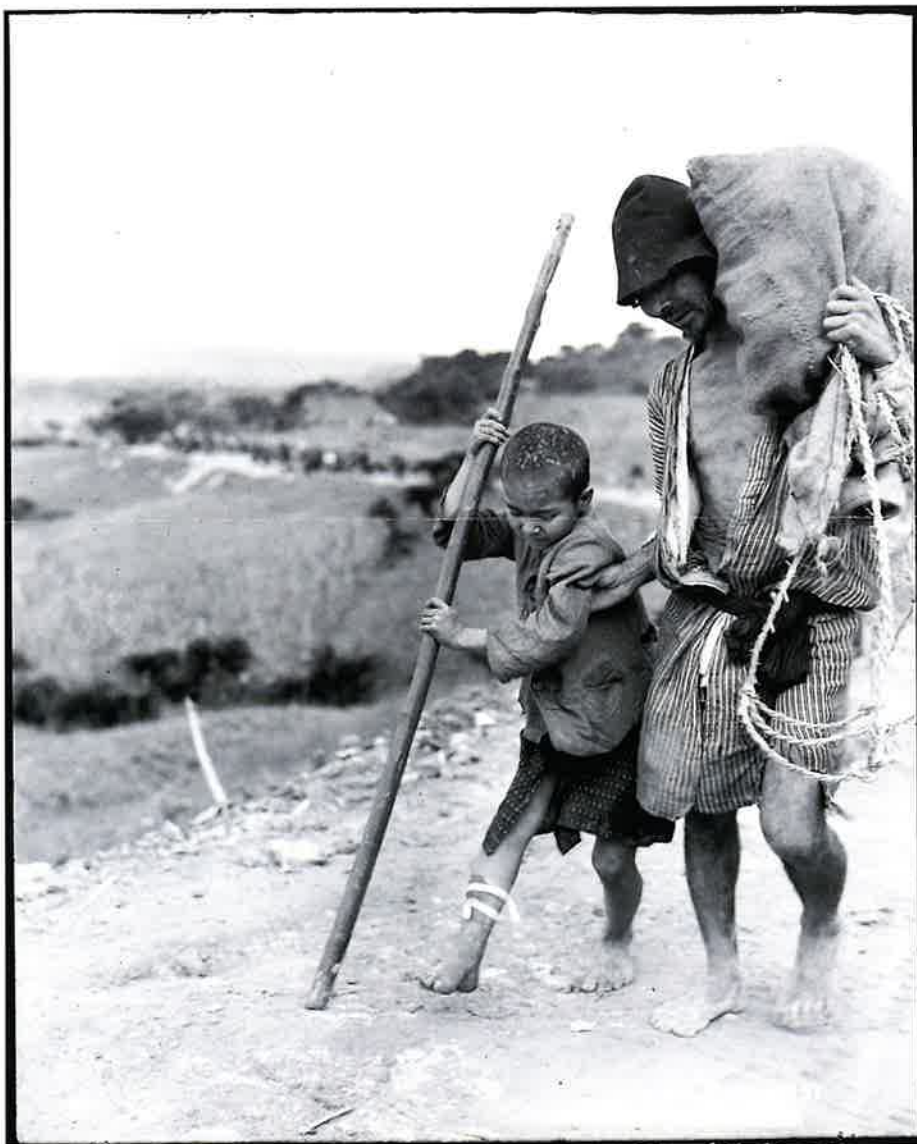


沖縄県公文書館所蔵資料展

「第7師団の前線後方の収容所へ向かう途中」 1945年6月19日 [04.7.1.3]



戦後80年 沖縄戦の記録

沖縄は80年前に凄惨な戦場となり、多くの命が奪われ、貴重な記録や文化財が失われました。

沖縄県公文書館は、1995年（平成7）の開館以来、沖縄戦やその影響を受けた戦後の人々にかかる記録を収集し、利用に供してきました。沖縄戦の体験や教訓を次世代に引き継ぐために、記録はますます重要性を増しています。

戦後80年—所蔵資料を通して沖縄戦とその影響を振り返ります。

2025.2.27 |木| - 9.28 |日| 入館無料

沖縄県公文書館 閲覧展示棟1F 展示室 [南風原町字新川148-3]

開館時間 | 9:00 ~ 17:00 休館日 | 月曜・祝日 ※土日開館

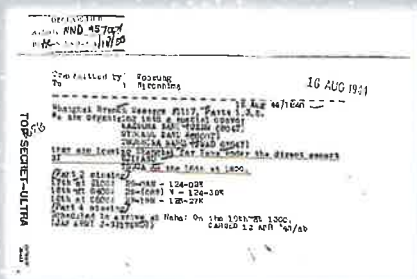
お問合せ ☎ | 098-888-3875 主催 | 沖縄県公文書館指定管理者（公財）沖縄県文化振興会

米軍の沖縄戦関係資料



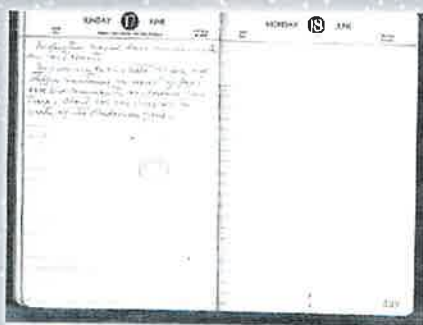
「アイスバーグ作戦（沖縄戦）戦術用地図 2万5千分の1 YONABARU SW 与那原 南西 再版」1944年 米陸軍地図局 Army Map Service [0000062719]

米軍は沖縄進攻作戦のために1944年9月から1945年5月にかけて撮影した空中写真をもとにこの2万5千分の1の戦術用地図を作成して配布しました。1000ヤード四方の方眼すべてに四桁の数字がうたれています。米軍は現地部隊に無線でターゲットの番号を伝え艦船・飛行機・大砲などから砲爆撃を行いました。



「無線傍受翻訳 対馬丸 1944年8月16日」[0000036968]

米軍が傍受した日本軍の無線の翻訳記録です。対馬丸その他の船舶が「8月16日16時に上海から那覇へ向けて出航する（*赤下線部）」ことを伝えています。対馬丸はその後、疎開する子供たちを乗せて那覇を離れ、8月22日米潜水艦ボーフィン号の攻撃を受けて沈没し、1,400人を超える人々が犠牲になりました。



(00001-004) Diary 1945 (2) [6 Apr-17 Jun 1945]

「バックナー中將の日記（1945年4月6日～6月17日）」

[0000073532] アイゼンハワー大統領図書館

サイモン・B・バックナー（1886-1945）中將は、米軍の沖縄侵攻作戦「アイスバーグ作戦」の主力部隊である第10軍司令官として沖縄戦に参加。1945年6月18日に前線を視察中に日本軍の砲撃で死亡しました。



「戦災孤児の就籍について」『児童福祉関係1957年』1957年 [R00086824B]

戦後に「戦災児収容所」から引き取られた養女として児童の戸籍問題が挙げられています。この児童は両親や縁者の身元が不明で、戸籍が未記載のままでした。琉球政府社会局は法務局に対し、各市町村や関係機関に就籍手続きを周知するよう依頼し、この問題が広範囲にわたると予想されることを伝えました。

学徒動員



学徒動員—戦場に駆り出された若者たち—

『昭和十二年度 卒業記念 沖縄県立第二中学校』1937年（昭和12）上原幸子氏寄贈 [0000254122]

沖縄県立第二中学校（現 県立那覇高等学校）の卒業アルバムです。アルバムには卒業生や学校周辺、部活動、射撃訓練の様子が収められています。

1937年は、世界恐慌の影響と国民精神総動員運動が進められ、日中戦争が勃発しました。

沖縄県公文書館

閲覧展示棟 1F 展示室

バス：那覇バス1～5番、12、14～16、19番 「新川営業所」下車徒歩3分
東陽バス191番「県立医療センター前」下車徒歩10分
駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用下さい。



HP



Facebook

